

本日（12月1日）、新たに米側から得られた情報等を踏まえ、記者会見において、次の説明をさせていただきます。

官房長官会見

- 米側に対しては、事故発生を受け、防衛大臣や外務大臣からの要請も含め、国内に配備されたオスプレイについて、搜索救助活動を除き、飛行に係る安全が確認されてから飛行を行うよう正式に要請してきているところ。今回のような事故の発生は、地域の皆様に大きな不安を与えるものであり、誠に遺憾。
- これまでの日本政府の累次の要請にもかかわらず、飛行安全の確認についての十分な説明がない中、オスプレイの飛行が行われていることについては懸念を有している。
- 引き続き米側に対しては、オスプレイの安全確保のため、防衛省や外務省から様々な働き掛けを行っていく。

防衛大臣会見

- 防衛大臣・地方協力局長から在日米軍司令官に対しては、国内に配備されたオスプレイについて、搜索救助活動を除き、飛行に係る安全が確認されてから飛行を行うよう要請。事故の状況等について、早期の情報提供を求めた。
- 今回のような事故の発生は、地域の皆様に大きな不安を与えるものであり、誠に遺憾。日本政府の累次の要請にもかかわらず、飛行安全の確認についての十分な説明がない中、オスプレイの飛行が行われていることには、懸念を有している。
- その上で、今朝、米側からは、
 - ・ CV-22の飛行を現在行っていないこと
 - ・ 日本配備の全オスプレイは徹底的かつ慎重な整備と安全点検の上で運用していること
 - ・ 事故に関する可能な限り詳細な情報を、透明性をもって共有すること、について説明があった。
- 引き続き、防衛大臣を含め、様々なレベルで働きかけを行っていきたい。